

Jazz Guitar Lesson

For Jazz Beginner 【19】



Mistletoe Music School

<YouTube 動画URL>

<https://youtu.be/ESKIJmJ5Dxl>

ロックギタリストのための

ジャズギター入門シリーズ！【19】

ジャズに初めて挑戦する方を応援する「ジャズギター入門シリーズ」第19回目となりました。今回はコードトーンの練習方法です。コードトーンが大切だということは、このビギナーシリーズでも、他の教則本、YouTube講座でも頻繁に語られていますが、実は万人に通用するベストな練習方法はありません。このビギナーシリーズでのジャズ学習と同様に、

自身のレベルに見合った練習となっているか？

がポイントです。実際のレッスンでコードトーンをしっかり指導していくのはジャズを始めて1年半ほど経過した頃です。私のビバップ・ジャズカリキュラムの半分が終わる頃です。それまではなんとなく指板上で形が見えて演奏出来ていれば合格点をあげています。音名で覚えるのはとても大切ですが、初心者には苦痛でしかありません。そもそも弾けなければ面白くないです。また、中級者以上の方が、指板上の型だけを見て演奏しているとしたら、それは卒業して次のステップへ進むべき時期だと思います。今回はレベル毎に9つのステップへと分けたコードトーンの練習方法をご紹介します。上達までのルールを知ることにより、自分がどの段階にいるのかを把握出来ます。上級者がどの程度までコードトーンをコントロール出来ているのかを知ること、学習に迷いがなくなればと思っています。

生徒様によくお話しするのですが、私はアドリブ練習をサボる日はあっても、この5分程度の基礎練習をサボる日は、ほとんどありません。コツコツやってきた方にしか到達出来ないレベルがあり、プロの中でも音の把握力のレベルにはかなりの差があります。



- Level.1 コードの度数を覚える -

コードトーンを覚える最初のステップとして、各コード毎の度数の違いを把握して全て Root=C で演奏出来るようにしましょう。この内容はジャズビギナーシリーズ【1】でも解説しています (<https://youtu.be/Qw9FZUTcAho?t=538>)

○	M7	○	7	○	m7	○	m7b5	○	dim
	7		b7		b7		b7		b b7
	5		5		5		b5		b5
	3		3		b3		b3		b3
	R		R		R		R		R

CM7

Cm7

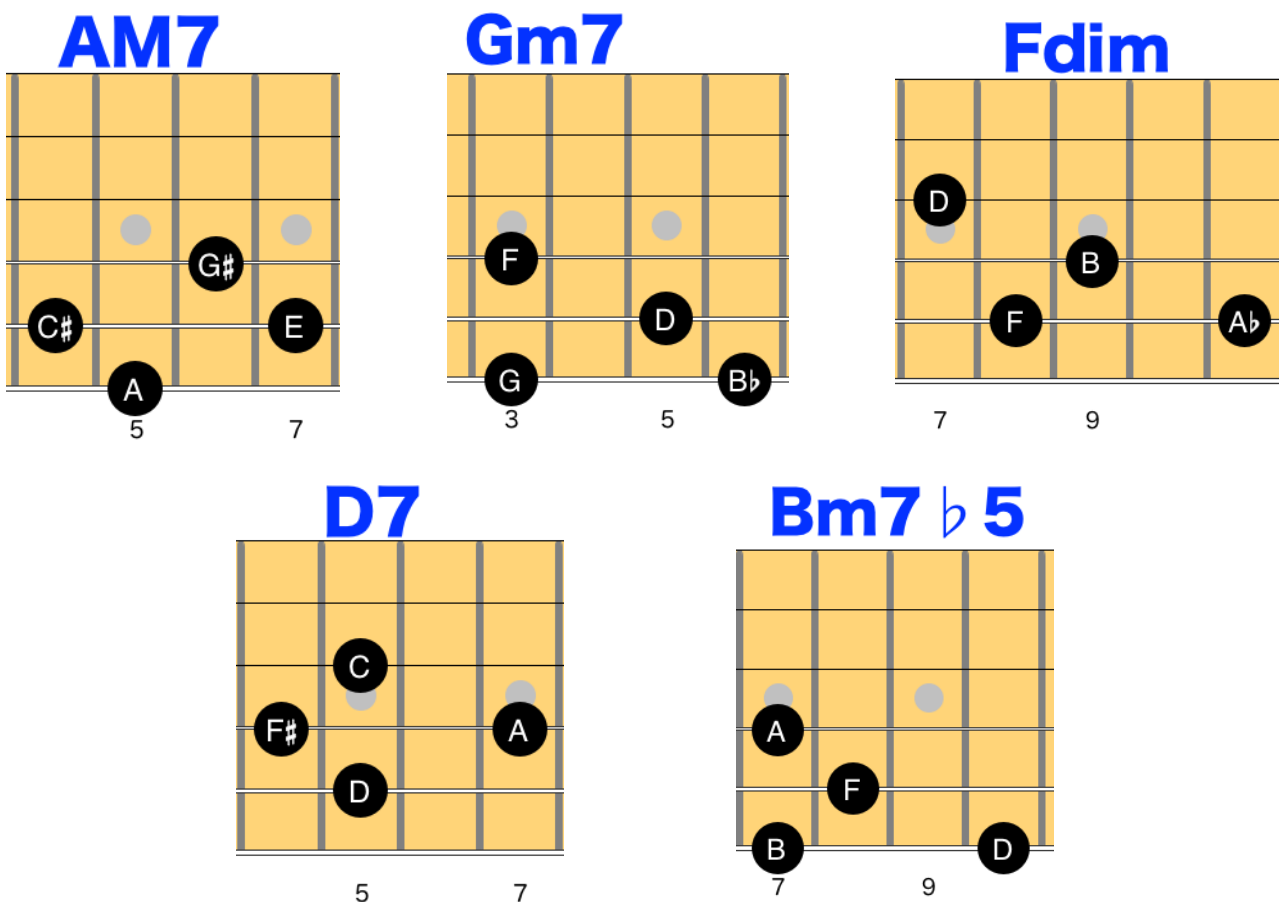
Cdim

C7

Cm7 b5

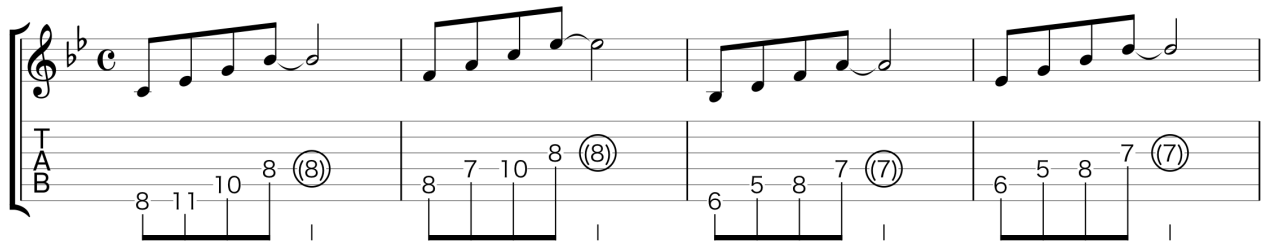
- Level.2 型をしっかり覚えましょう -

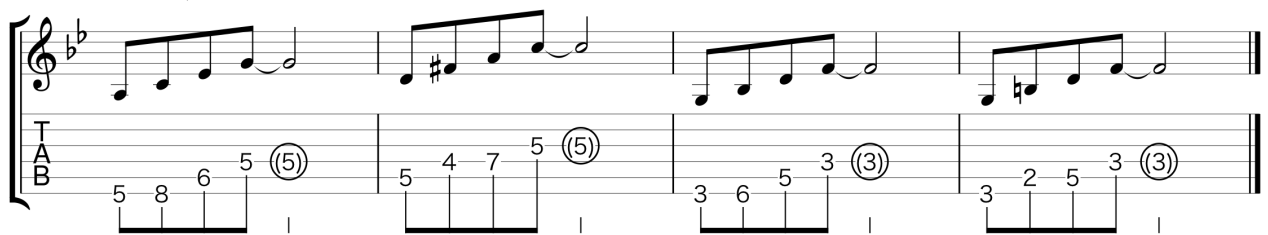
Root=Cでそれぞれのコード毎の度数の違いを確認出来たら、別のRoot上で演奏出来るようにしましょう。皆さんご存知の通り、ギターはヘッドに近いほどフレット幅が広く、ボディに近くなるほどフレット幅が狭くなるため、ポジションにより指板上での型が違って見えることが多々あります。また、型で覚える際は無意識にポジションマークを頼って覚えてしまうこともありますので、注意が必要です。



- Level.3 絶対に止まらないように -

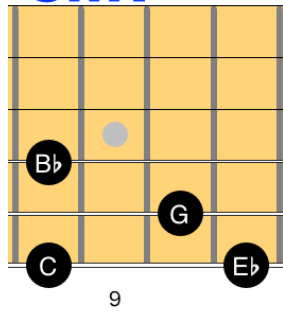
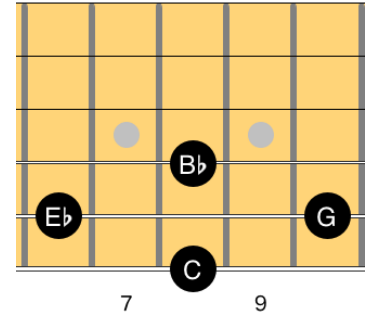
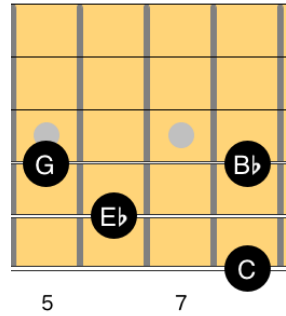
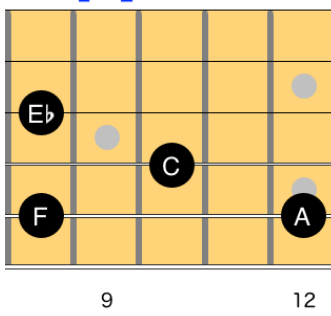
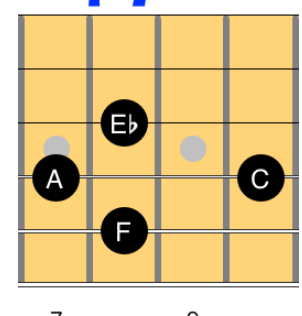
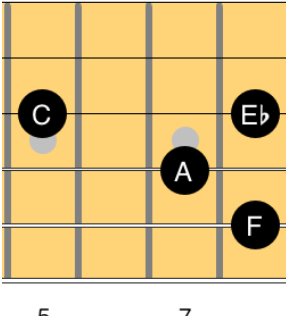
色々なポジションでも間違えることなくコードトーンが演奏出来るようになったら、いよいよ楽曲へと合わせています。ここで大切なことは、「止まらないように演奏すること」です。「止まること」が一番音楽的ではありません。ゆっくりなテンポで構いませんので、丁寧に演奏していきましょう。ビギナーシリーズではブルース以降、ずっと枯葉をやっているのです、今回も枯葉の8小節で練習します。

Cm7 F7 B♭M7 E♭M7


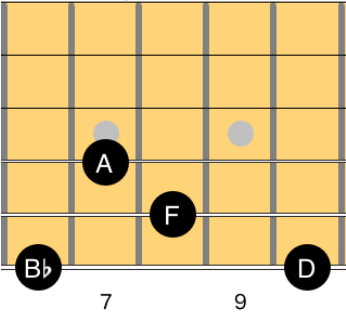
 Am7♭5 D7 Gm7 G7


- Level.4 複数の指使い -

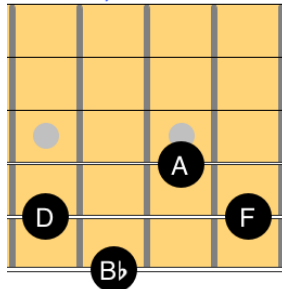
ギターは同じ音の並びでも、複数の指使いが考えられます。1箇所ルートに対して、▼人差し指から演奏、▼中指or薬指から演奏、▼小指から演奏、この3パターンを練習しましょう。

<p>Cm7</p> 	<p>Cm7</p> 	<p>Cm7</p> 
<p>F7</p> 	<p>F7</p> 	<p>F7</p> 

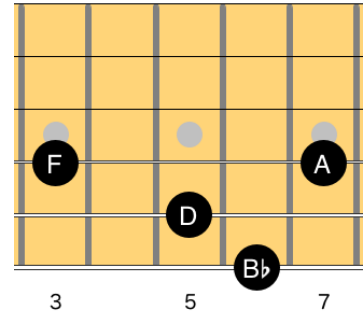
B \flat M7



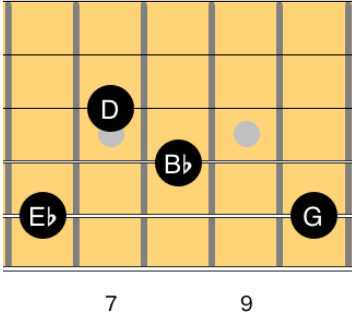
B \flat M7



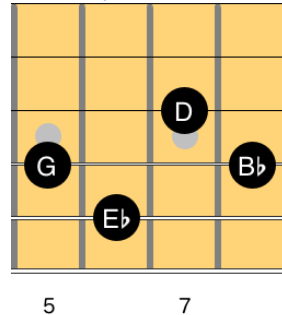
B \flat M7



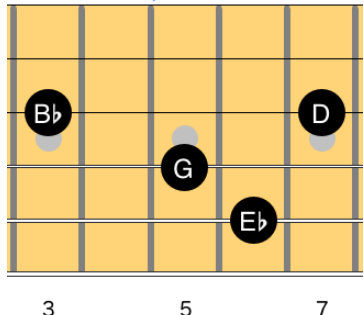
E \flat M7



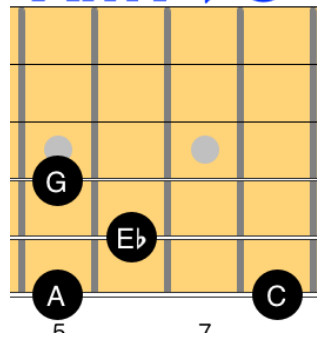
E \flat M7



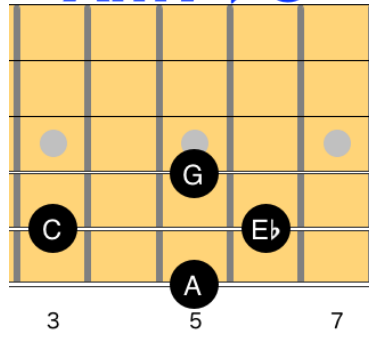
E \flat M7



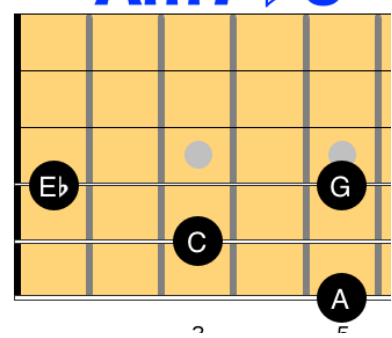
A m7 \flat 5



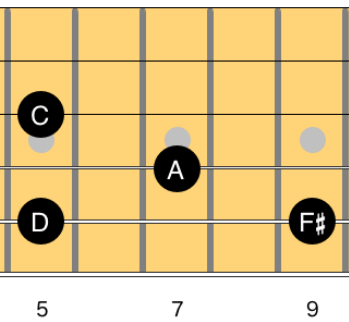
A m7 \flat 5



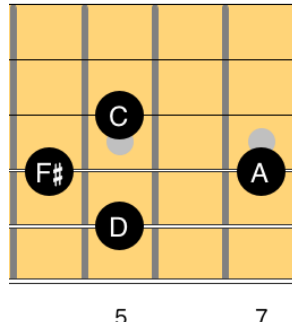
A m7 \flat 5



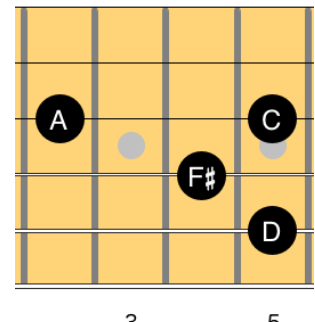
D7



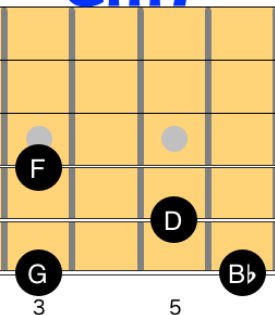
D7



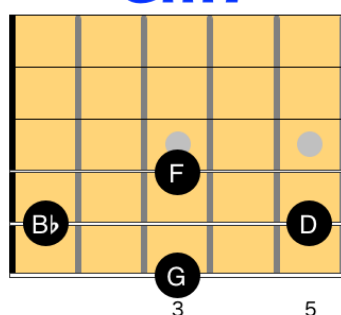
D7



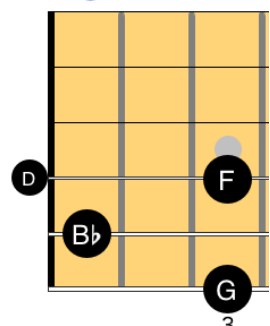
G m7



G m7



G m7



- Level.5 型をRoot以外の音から演奏-

Root以外の音からも指板上の型を見えるようにしましょう。Level.4とLevel.5をこなすことにより、徐々に音名と度数がリンクしてくるようになります。これまでの私の指導経験上、型だけとか、度数だけとか、音名だけのように、どれか1つの考え方に固執して処理しようとする事で、大きな壁に当たってしまう生徒が多くいました。1) まず型から覚えて、2) 徐々に型のどこが何度の音になっているかを覚え、3) 最終的に音名と度数、どちらで言われても答えられるようになれば良いと思います。

Ex.) 全て7度音から演奏

この時、音名は分かっているなくてもOKです。

型のトップノートから始まっているとだけ考えています。

1 Cm7 2 F7 3 B \flat M7 4 E \flat M7

5 Am7 \flat 5 6 D7 7 Gm7 8 G7

9 Cm7 10 F7 11 B \flat M7 12 E \flat M7

13 Am7 \flat 5 14 D7 15 Gm7 16 G7

Ex.) 様々な度数から

この時も、音名は分かっているなくてもOKです。

型のスタート位置の度数だけが把握出来ていれば合格。

Cm7は5度から、F7は3度から、B♭M7は7度から・・・といった具合にです。

1 Cm7 2 F7 3 B♭M7 4 E♭M7

5 Am7♭5 6 D7 7 Gm7 8 G7

9 Cm7 10 F7 11 B♭M7 12 E♭M7

13 Am7♭5 14 D7 15 Gm7 16 G7

- Level.6 方向性を保つ (音名の把握) -

ここからは中級レベル以上の方が対象になります。次に方向性を保つ練習です。音を徐々に高い方へ or 低い方へ進めるのがルールです。今演奏している音より高い場所で、次の小節のコードトーンを探していきます。Level.5までの型を見た練習だけでは、度数と音名がリンクしてこない方もいらっしゃると思いますが、この練習をすることによりコードトーンの音名を確実に把握出来るようにしていきます。

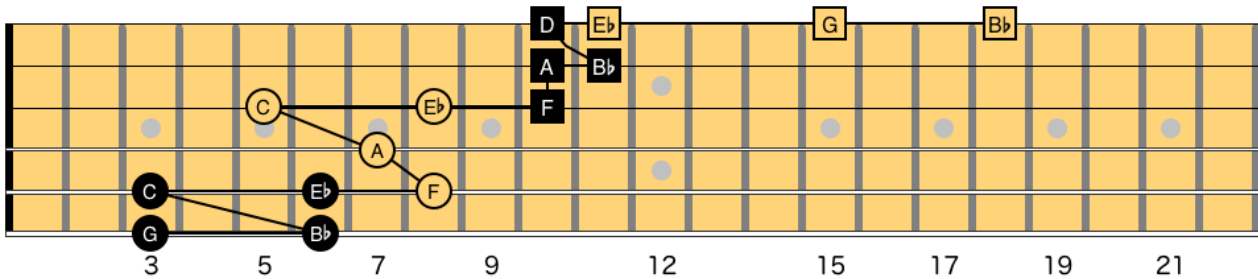
Ex.) 6弦3Fから徐々に音を上げていきます

Cm7でG、B \flat 、C、E \flat (●表記)

F7でF、A、C、E \flat (○表記)

B \flat M7でF、A、B \flat 、D (■表記)

E \flat M7でE \flat 、G、B \flat (□表記)



Ex.) B \flat 音から上行した例

Cm7 F7

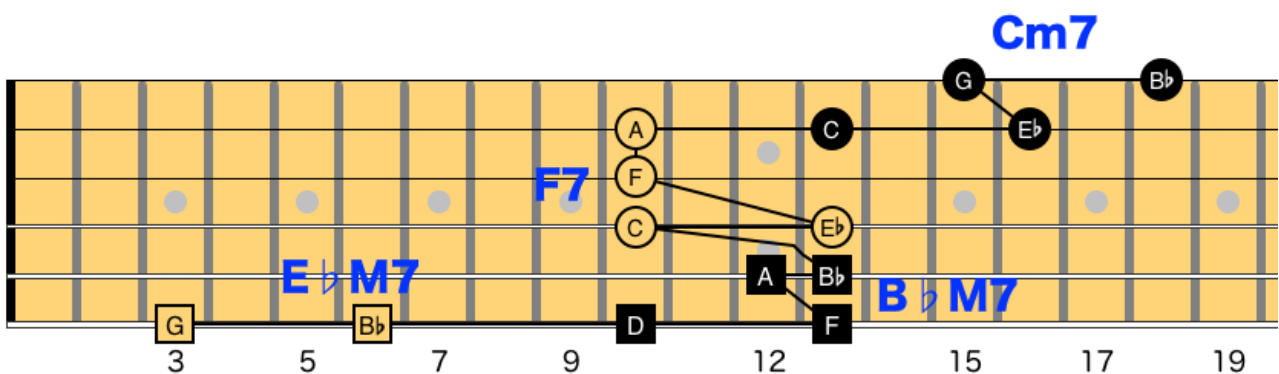
\flat 7th Root \flat 3rd 5th 3rd 5th \flat 7th Root

B \flat M7 E \flat M7

M7th Root 3rd 5th 3rd 5th M7

8^{va} -----

Ex.) 高い音から下降してくる場合も同様です



- Level.7 自由であれ -

コードトーンと音名がリンクしてきたら、指板上を広く使って自由に演奏します。ここまで来たら上級です。

Cm7 F7 B♭M7 E♭M7

TAB 6 5 8 8 | 7 6 8 5 | 7 3 3 7 | 5 6 3 5

Am7♭5 D7 Gm7 G7

TAB 5 7 5 6 | 5 4 7 5 | 3 3 3 6 | 3 4 5 3

Cm7 F7 B♭M7 E♭M7

TAB 1 5 3 3 | 2 3 5 4 | 3 3 3 7 | 5 6 7 8

Am7♭5 D7 Gm7 G7

TAB 5 8 8 8 | 5 7 7 5 | 8 7 8 6 | 7 8 10 7

Cm7 F7 B♭M7 E♭M7

TAB 8 8 8 10 | 7 8 10 8 | 7 10 8 10 | 11 11 11 12

Am7♭5 D7 Gm Gm

TAB 10 10 12 13 | 12 11 10 13 | 11 12 10 12 | 13 10 10

- Level.8 度数と音名は常にリンク-

自由に演奏しつつも、常に度数は把握しながら演奏しています。動画では声に出して解説したので、とちってますが(汗)実際には心の中だけで度数を言いましょう。また無謀なテンポにならないようにしましょう。

Level 8 musical notation showing chords and guitar TAB. The first system contains measures 1-4 with chords Cm7, F7, BbM7, and EbM7. The second system contains measures 5-8 with chords Am7b5, D7, Gm7, and G7. Each measure includes a guitar TAB line with fret numbers.

- Level.9 音楽であれ-

最後のレベルは音楽的にリズムも自由に演奏しましょう。動画の演奏も即興で演奏しています。採譜してみると、4拍目裏に次の小節のコードを先取っている箇所も多く見られました(無意識に演奏しています)

Level 9 musical notation showing chords and guitar TAB. The first system contains measures 1-4 with chords Cm7, F7, BbM7, and EbM7. The second system contains measures 5-8 with chords Am7b5, D7, Gm7, and G7. Each measure includes a guitar TAB line with fret numbers and some slurs.

Cm7 F7 B♭M7 E♭M7

TAB 4 7 5 5 4 5 5 | 2 5 3 7 4 4 | 3 3 3 7 7 5 | (5) 6 5 8 7 8 8 6

Am7♭5 D7 Gm7 Gm7

TAB ⑧ 5 8 7 7 | 7 10 10 7 8 10-10 | 11 8 7 8 10 | 7 8 10

Am7♭5 D7 Gm7 G7

TAB 7 10 7 7 7 8 7 8 | 7 7 7 7 7 10 10 8 | 6 8 7 8 10 8 7 8 | 9 7 8 7-10-15-13

Cm7 F7 B♭M7 E♭M7

TAB 11 7 13 11 13 12 | 10 10-13 7 10 | 11 6 (6) 3 | 4 3 7 3 5 3

D7 (Am7♭5) D7 Gm7 C7 Fm7 B♭7

半音ミスしました

TAB 7 7 7 5 7 | 4 5 4 5 4 7 5 | 7 5 7 5 5 | 6 8 7 8 5 8

E♭7 D7 Gm7 G7

TAB 5 6 7 8 7 6 7 5 | 7 7 4 5 4 7 4 5 | 5 8 5 5 5 8 5 5 | 5 9 5 8 5 9 5 8

－ 基礎の構築 －

基礎練習はスポーツをやる上での筋トレとか、フォーム改善のようなものです。これを行ったからと言って、すぐに上手くなるものではありませんが、自身のレベルが上がっていくにつれて、基礎練習の大切さをじわじわと実感出来るようになります。フィジカル面での基礎練習もありますが、コードトーンの基礎練習は頭のトレーニングと、指板の把握力のトレーニングです。何事も基礎の上に成り立っていますので、嫌にならない程度にコツコツと基礎練習を続けることをお勧めします。

▼2016年に撮った動画ですが、こちらも参考にしてみてください。

<https://youtu.be/zJiaN7yZGCY>

▼こちらの教本もオススメです。

<https://amzn.to/3gnMSjW>

▼投げ銭応援箱

<https://www.paypal.me/mistletoepay/1000>

Paypalを使用した投げ銭箱です。額は自由に変更できます。

まだまだ制作頑張ります。応援、宜しくお願い致します。

